

編集後記

当社としては、このような本格的地下鉄道を建設したのは初めてであり、その計画当時、まったくの手探りの状態から出発したことが思い出されます。

砂利を運ぶために開業した路面電車を、都内でも屈指の交通量がある道路下に、地下鉄道として生まれ変わらせるためには、本文に述べたように実に長い多くの歴史がありました。そのようなことから、この記録も単なる工事誌ではなく「建設史」として記述したつもりです。

編集に当たっては、各部門の担当者が日常業務の合い間を縫って、しかも慣れない作業であったため、思わぬ時間を費やす結果となりましたが、その反面このことが幸いして、そのごの輸送状況まで触れることができました。

昭和52年4月7日の開通時には6両編成、2年後からは8両編成で運転中であり、早くも10両編成となる時期が目前にせまってまいりました。最後に、編集ならびに印刷等について伊坂美術印刷㈱の松本裕氏に大変ご尽力いただきましたことを、特に付記いたします。

新玉川線建設史

昭和55年 8 月12日発行

編 集
発 行

東京急行電鉄株式会社

東京都渋谷区桜丘町26-20

印 刷

伊坂美術印刷株式会社

東京都中央区新川 2-1-4